

# 「味力全開！九州一・佐伯 ツーリズム重点戦略2014改訂版」(戦略2014)へのご意見の集約結果について

- 1 期 間:平成26年11月26日～12月12日
- 2 照会・集約の方法:佐伯地域戦略推進会議・構成8団体の各ホームページ等を通じて照会・集約
- 3 ご意見等数:10件(5名)
- 4 ご意見等の概要及びその対応

ご意見等概要	対応(戦略2014への反映等)
◆「初期戦略の振り返り」に関するご意見 →おもてなしマイスター等を育てただけでは成果といえない。	初期戦略において、18人の「佐伯おもてなしスペシャリスト」、107人の「佐伯おもてなしマイスター」、5社の「おもてなしタクシー」が誕生しました。今後は、こうした人材等が佐伯観光「おもてなし」分野で活躍する機会を設けていくこととしています。(戦略2014に反映)
◆初期戦略と比較しての疑問① →初期戦略のキーワード「結(一体となってつなぐ)」はどうなったのか。	戦略2014においても、「周遊観光モデルルート」の設定・活用などを通じ、引き続き「地域が一体となって取り組む」理念を継承していきます。
◆初期戦略と比較しての疑問② →全体的に「女性をターゲット」とした感が薄れた感じ。「女性をターゲットにするのは当然」という趣旨から載せていないというらえ方か。	観光あるいは地域経済全般のカギは女性が握っているとされており、引き続き、戦略2014においても、女性をメインターゲットとした各種施策を推進していきます。
◆戦略2014 目標指標に関するご提案 →蒲江関連2施設の目標指標が甘いのでは。目標値の根拠が理解できない。	蒲江関連の施設を中心に目標指標を再度検討し、一部指標を上方修正しました。(戦略2014へ反映)
◆戦略2014「駅からクルージング」船舶運航プログラムへのご提案 →葛港発着のクルーズに大島航路の船の活用を検討してはどうか。	戦略2014プログラムを推進・検証する中で、大島航路船の活用も検討します。
◆戦略2014「観光案内サイン強化プロジェクト」へのご意見 →既に結構な数の案内看板等がある気がするが、必要なところはないのか。	東九州自動車道「佐伯～蒲江」間の開通に伴う新設IC周辺のアクセスや、戦略2014で新たに定めた「周遊観光モデルルート」の周遊効果等をより高めるため、再整備を図るものです。
◆広報手段のご提案① →観光大使を任命して、広報活動してはどうか。 (嘉風、竹内力等所縁の著名人)	観光大使の任命による広報については、戦略2014における取組みとしてではなく、佐伯市の観光振興におけるひとつの具体的ご提案として、検討していきます。
◆広報手段のご提案② →佐伯・宮崎といった枠でなく、大分の全国区産品(ごまだし、関あじ・関さば、いいちこ等)とのコラボやAKB指原さんへのオファーなども検討しては。	県内全国区産品とのコラボ等による広報については、戦略2014における取組みとしてではなく、佐伯市全体の観光及び物産PRのための具体的ご提案として、検討していきます。
◆「佐伯グリーンツーリズム」に関するご意見 →佐伯のグリーンツーリズムが置いてきぼりな感じがして残念。	佐伯のグリーンツーリズムは、体験型観光の柱の1つをなしており、高速道路開通後もその役割はより重要になると考えられるため、戦略2014「周遊観光モデルルート」等に一部追記しました。(戦略2014へ反映)
◆中心市街地活性化のご提案 →中心部アーケードの再興が(臼杵市などを参考に)必要ではないか。	戦略2014には直接含まれていませんが、佐伯地域の活性化に必要不可欠である中心市街地の活性化については、佐伯市の商工部門において、引き続き検討・推進していきます。